

# 令和3年度 南アルプス市立櫛形北小学校 学校関係者評価書

令和4年1月20日(水)  
学校関係者評価委員会作成

## 第2回学校関係者評価委員会

日時：令和4年1月11日(火)

会場：櫛形北小学校図書室

評価者：学校関係者評価委員

【学校評議員】横小路 淳一(元中学校校長) 檜山 香澄(主任児童委員)

長澤 光(元中学校校長)

【各地区長】保坂 孝治(曲輪田区長) 横内 俊武(上宮地区長)

中込 公男(桃園区長)

【PTA】大島 輝洋(PTA副会長) 横内 京子(PTA母親代表)

勝 美希(PTA母親代表)

【学校】佐野 紳二(校長) 中村博文(教頭)

### 内容

#### 1 学校側から提案の内容

- ① 学校評価の方法について
- ② 教職員自己評価の内容と結果について
- ③ 児童アンケートの内容と結果について
- ④ 保護者アンケートの内容と結果について

#### 2 協議された主な内容

- ① 学校評価への全体評価、項目ごとの評価・達成状況について
- ② 学校教育全般について

## 《学校関係者評価書》

### 1 全体的な評価について

教職員の自己評価、児童・保護者へのアンケート調査の結果を見ると、いずれの評価においてもプラスの評価結果が得られている。櫛形北小学校の教育活動が適正に行われ、そのことが児童や保護者にも肯定的に評価されていると考えられるだろう。

しかしながら、数は少ないがマイナス評価をしている児童や保護者もいるので、そうした意見にもしっかり耳を傾け、原因を分析し、よりよい指導に繋げていっていただきたい。

### 2 評価委員会の中で委員の皆様から出されたおもな意見

#### 【学習指導について】

- ・児童アンケートの「授業中に自分の意見を伝えている」という項目の評価が低い。新学習指導要領では対話を重視した指導が求められているが、コロナ対策ではソーシャルディスタンスを取ることが求められている。それらは相反するものなので、先生方の指導は大変だと思う。タブレットを使った対話の工夫についても研究をして、進めていってほしい。

- ・(前の意見に関わって) 自分の考えを伝えるのは、口頭ばかりにこだわる必要はない。書いたり、ICTであったり、色々な表現方法を身に付けることも大切ではないか。
- ・校内研究の自己評価で、A評価の割合が前期と比べ低下している。今年度はICTの活用という新しい分野の研究に取り組んだとのことだが、こういった面で評価が低くなったのか、原因をきちんと調査をして、改善につなげてほしい。
- ・以前、楡形北小学校では「復習ノート」の取組を行っていた。復習ノートでは、授業の様子をノートに書くことに取り組み、大変ではあったようだが、効果があったと聞いている現在は実施していないということだが、子どもたちの実態に合わせて家庭学習の方法についても工夫し、家庭学習の充実と学習習慣の確立を目指した指導を継続してほしい。
- ・学校ではタブレット端末をどのように扱っているのか。今年は授業参観もなく、子どもに話を聞いてもはっきりとしたことが分からないので、実際に使用している授業を見てみたい。また、家庭への持ち帰りもまだあまりないようなので、今後、計画的に進めてほしいと感じている。

#### 【生徒指導・生活指導について】

- ・「相談できる先生がない」と回答した児童がいることが気になる。担任の先生には話しにくいこともあると思うので、それをどのようにして補っていくかを学校体制としても考えてほしい。また、保護者アンケートの結果を見ると、親同士の繋がりが薄いのではないかと印象を受ける。保護者が子どもの実態をつかめていないという面もあるのかも知れない。
- ・北小ではスマホやSNSでのトラブルがあったのか。一人一台パソコンが導入されたり、児童のスマホ所持率が上がったりしている中、ICTの活用についての指導は必要だが、それと同時に情報モラルについての教育が欠かせないと思う。保護者への啓蒙も含め、学校での指導をお願いしたい。

#### 【小中一貫教育について】

- ・Slimpleプログラムについてより詳しいことを教えてほしい。また、評価が前期よりも低下しているが、原因としてどのようなことが考えられるかを分析し、改善につなげてほしい。

#### 【その他・アンケート全般について】

- ・保護者アンケートにはどれくらいの保護者からの回答が得られたのか。また、学年ごとのデータは分かるのか。回答率を示したり、アンケート項目によっては学年ごとのデータで分析したりすると今後の傾向と対策が行いやすいかも知れないので、違った視点からの分析や結果の公表も行ってもらいたい。
- ・スマホ所持率の調査結果が保護者と児童とでは違っているのはなぜか。今回から、調査方法がGメールを使った方法に変更されたが、もし、保護者の回答率が低下しているのであれば、全保護者に回答していただけるような手立ても必要だと思う。
- ・保護者から色々な意見が上がっているが、保護者が自分の言いたいことを気兼ねなく言えるのは、保護者と学校の間には良好な関係があると考えてもいいと思う。学校が説明できる意見については積極的に発信するとよい。学校側の意志や思いを理解してもらおう良いきっかけとするとよいのでは。